

さいたま市山岳連盟主催「チームレスキュー講習会」

1. 期日 平成23年10月30日(日)
2. 場所 飯能市 天覧山R.G

仙台 忍(浦和山岳会)

10月30日(日曜日)、「チームレスキュー講習会」に初めて参加。

場所は、飯能市天覧山R.G。講師はプロの上級登攀ガイドの佐藤博氏。

さいたま市の山岳会から約30名ほどが集まり、縦走中に仲間が滑落した場合を想定して、ケガ人を引き下げ、または引き上げるという、「チームレスキュー」の講習。

準備運動の後、佐藤ガイドからの挨拶があり、岩場へ移動。

装備を整えた後、班に別れ、1班5人程でチームを組む。

最初の30分でロープ結びの基本を習得。エイトノット、インクノット、ブルージックとマッシュャーノット、そしてムンターヒッチ(半マスト)。

まずはケガ人の「引き下げ」の講習。

岩場上部から、半マストで懸垂下降。岩場の途中にいるケガ人のところまで下るという想定で、ミュールノットで仮固定、本固定を行って下降する。

それから、ケガ人と自身をスリングとカラビナで連結して下降。更に、懸垂しながらケガ人を支え、途中でミュールノット、下降するという実技を学ぶ。

午後に入って、「引き上げ」の実技講習に入る。「引き下げ」よりも更に複雑になる。佐藤ガイドが、厳しくも手際よく手本を見せる。末端をエイトノット、反対の末端を半マストとミュールで固定。ブルージックをセットし、ケガ人のところまで下降。まずは、自身をミュールノットで確保。ブルージックをロープとともにケガ人にかけて確保する。それから、マッシュャーもしくはブルージックで自身を確保したあと、ミュールノットを解除、自力で登る。支点のある安全な場所まで登ったら、まずセルフビレイをかけ、ブルージックを解除。支点のカラビナにロープをかけ、ケガ人を引き上げる。(1/2)更に、マッシュャーをセットし1/6の力で引き上げを学ぶ。

最後に、120センチのスリングで簡易ハーネス(シートベント)のセットの仕方を学ぶ。

予定時間をオーバーして、4時前には講習終了、解散となる。

<感想文>

レスキューはおろか、岩場での経験も浅い、全くの初心者の私ですが、佐藤ガイドを始め、経験豊かな山岳会の人達に支えられ、この日の「チームレスキュー」について多くのことを学ぶことができました。

初対面の人達とチームを組んで、ビレイをし、サポートをし合う... 最初は怖じ気づき、逃げ出したくなりましたが、1回、2回とロープでつながると、自然と会話もはずんできました。

それでもとにかく、終止、必死でした。「無理だ。私にはできない」と尻込みしながらも、周囲の人達に助けられ、そして、未熟な自分に恥ずかしさを感じながらも、なんとか1つ1つ、実技をこなしていきま

した。  
いかにも強面な(?)佐藤ガイドの的確な実演、みごとに現場をしきり、厳しく指示を出し、アドバイスを

をしていただいたおかげで、蚊にはさされましたが、1人の負傷者もなく、無事講習を終えることが

できました。  
「これから学ぶことがたくさんある」そう思うとワクワクします。

「もっとできるようになりたい」そんな気持ちでいっぱいです。  
このような機会を与えてくれた関係者の方々、助けていただいたチームの皆様、そして佐藤ガイドに、本当に感謝いたします。ありがとうございました。